

## 6 社会動態

### (1) 市町別社会動態

この1年間の県内の市町間移動者数は、10,340人(男5,081人、女5,259人)、他の都道府県からの転入者は16,767人、他の都道府県への転出者は18,306人で、移動総数は45,413人となっている。

転入超過となった市町は、みやき町(224人)、鳥栖市(212人)など6市町(1市5町)で、また転出超過となった市町は、唐津市(548人)、伊万里市(250人)、佐賀市(217人)、神崎市(205人)など14市町(9市5町)となっている。

### (2) 県外転入・転出者数

この1年間の県外からの転入者数は、16,767人(男9,116人、女7,651人)で、他の都道府県からの転入で最も多いのは、福岡県(6,471人)で、続いて長崎県(2,064人)、東京都(930人)、熊本県(767人)、大阪府(504人)となっている。

また、県外への転出者数は、18,306人(男9,694人、女8,612人)となっており、転出先で最も多いのは、福岡県(7,324人)で、続いて長崎県(1,682人)、東京都(1,288人)、熊本県(827人)、大阪府(608人)となっている。

この結果、社会動態では、1,539人(男578人減、女961人減)の転出超過(人口減少)となっている。さらに、前年と比較すると、県外からの転入者は503人減少し、県外への転出者は598人減少している。

表-11 社会動態 (⇒統計表第4・5・10表)

区 分		令和2年		令和3年		増 減	
		人	%	人	%	人	ポイント
県外 転入	総数	17,270	21.2	16,767	20.7	△ 503	△ 0.5
	男	9,402	24.4	9,116	23.7	△ 286	△ 0.7
	女	7,868	18.4	7,651	17.9	△ 217	△ 0.5
県外 転出	総数	18,904	23.2	18,306	22.6	△ 598	△ 0.6
	男	10,015	26.0	9,694	25.2	△ 321	△ 0.8
	女	8,889	20.7	8,612	20.2	△ 277	△ 0.5
社会 増減	総数	△ 1,634	△ 2.0	△ 1,539	△ 1.9	95	0.1
	男	△ 613	△ 1.6	△ 578	△ 1.5	35	0.1
	女	△ 1,021	△ 2.4	△ 961	△ 2.3	60	0.1
県内 移動	総数	10,480	12.9	10,340	12.7	△ 140	△ 0.2
	男	5,199	13.5	5,081	13.2	△ 118	△ 0.3
	女	5,281	12.3	5,259	12.3	△ 22	0.0
移動 総数	総数	46,654	57.3	45,413	56.0	△ 1,241	△ 1.3
	男	24,616	63.9	23,891	62.1	△ 725	△ 1.8
	女	22,038	51.4	21,522	50.4	△ 516	△ 1.0

注) 各年次とも前年10月1日から当年9月末日までの1年間の集計である。

(3) 月別県外転入・転出者の動き

県外転入、転出者数を月別にみると、最も多い月は、転入者数では、3月の3,421人、次いで4月の2,396人となっている。

転出者数では、3月の5,496人、次いで4月の1,913人となっている。

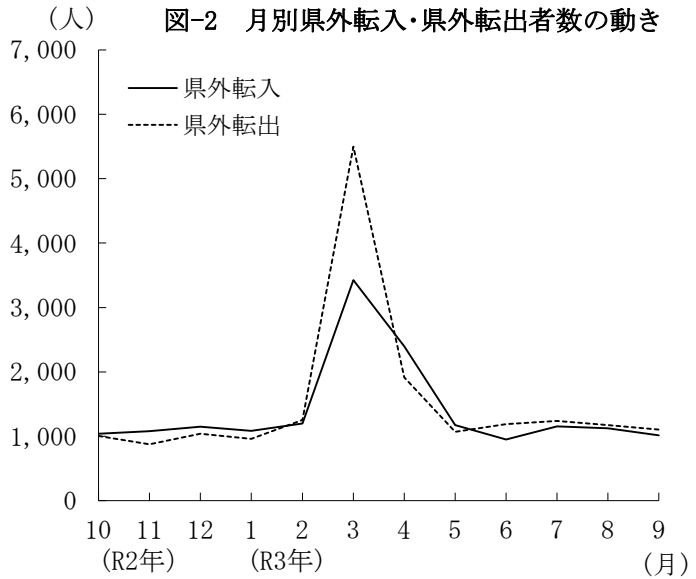


表-12 月別県外転入・転出者数 (⇒統計表第4表) (単位：人)

	合計	R2年			R3年								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
県外転入	16,767	1,038	1,076	1,147	1,084	1,196	3,421	2,396	1,173	947	1,152	1,122	1,015
県外転出	18,306	1,003	872	1,037	958	1,254	5,496	1,913	1,070	1,187	1,238	1,173	1,105

(4) 市町別社会動態率

転入率・転出率・社会増減率の上位及び下位をそれぞれ5位までみると表-13のとおりである。

表-13 市町別社会動態率 (⇒統計表第5表) (単位：%)

順位	転入率						転出率						社会増減率		
	総数	県内		県外		総数	県内		県外						
上位	1	上峰町	61.7	上峰町	31.2	基山町	38.6	吉野ヶ里町	57.2	江北町	25.9	鳥栖市	37.1	上峰町	12.6
	2	吉野ヶ里町	58.3	江北町	29.0	鳥栖市	38.5	上峰町	49.1	吉野ヶ里町	25.6	基山町	32.5	みやき町	8.8
	3	鳥栖市	49.7	吉野ヶ里町	26.0	吉野ヶ里町	32.3	鳥栖市	46.9	上峰町	24.2	吉野ヶ里町	31.6	基山町	3.5
	4	基山町	47.9	大町町	25.1	上峰町	30.5	基山町	44.3	神崎市	22.8	上峰町	24.9	大町町	2.9
	5	江北町	39.8	小城市	20.1	佐賀市	22.1	神崎市	43.1	玄海町	21.2	佐賀市	24.2	鳥栖市	2.9
下位	1	白石町	22.4	唐津市	6.4	白石町	9.8	白石町	26.6	唐津市	7.1	大町町	11.3	玄海町	△ 8.6
	2	唐津市	22.8	有田町	9.0	大町町	10.0	唐津市	27.5	佐賀市	9.7	白石町	12.3	嬉野市	△ 7.3
	3	鹿島市	26.4	基山町	9.3	江北町	10.9	みやき町	29.2	鳥栖市	9.7	江北町	14.5	神崎市	△ 6.6
	4	有田町	27.3	伊万里市	9.3	鹿島市	12.0	有田町	31.7	伊万里市	11.1	小城市	15.8	鹿島市	△ 5.5
	5	伊万里市	27.5	佐賀市	10.8	小城市	12.2	鹿島市	31.9	有田町	11.5	鹿島市	16.3	太良町	△ 4.9

(5) 年齢別移動状況

この1年間の人口移動を年齢別にみると、移動総数 45,413人 {県内移動+県外(転入出移動)}のうち、最も多い年齢階級は、20~24歳 9,969人(総数の21.95%)、続いて25~29歳 8,062人(17.75%)、30~34歳 5,257人(11.58%)、35~39歳 3,529人(7.77%)、15~19歳 3,449人(7.59%)となっている。

表-14 人口動態の推移(平成9年~令和3年) (⇒統計表第5表)

年次	自然動態						社会動態					
	出生数	死亡数	自然増減数	出生率	死亡率	自然増減率	県外転入数	県外転出数	社会増減数	県外転入率	県外転出率	社会増減率
	人	人	人	%	%	%	人	人	人	%	%	%
平成 9年	8,823	7,817	1,006	9.97	8.83	1.14	22,395	23,873	△ 1,478	25.30	26.97	△ 1.67
10年	8,924	7,846	1,078	10.09	8.87	1.22	21,532	23,186	△ 1,654	24.34	26.21	△ 1.87
11年	8,656	8,040	616	9.79	9.09	0.70	21,417	22,863	△ 1,446	24.22	25.86	△ 1.64
12年	8,623	7,862	761	9.76	8.90	0.86	21,134	22,546	△ 1,412	23.93	25.52	△ 1.60
13年	8,731	7,707	1,024	9.96	8.79	1.17	21,080	23,069	△ 1,989	24.05	26.31	△ 2.27
14年	8,287	7,735	552	9.46	8.83	0.63	20,344	22,700	△ 2,356	23.23	25.92	△ 2.69
15年	8,017	8,281	△ 264	9.17	9.48	△ 0.30	20,639	22,376	△ 1,737	23.62	25.61	△ 1.99
16年	7,983	8,098	△ 115	9.16	9.29	△ 0.13	20,325	22,218	△ 1,893	23.31	25.48	△ 2.17
17年	7,642	8,528	△ 886	8.79	9.80	△ 1.02	19,532	21,687	△ 2,155	22.45	24.93	△ 2.48
18年	7,530	8,525	△ 995	8.69	9.84	△ 1.15	19,554	22,381	△ 2,827	22.57	25.83	△ 3.26
19年	7,732	8,512	△ 780	8.96	9.87	△ 0.90	19,721	22,283	△ 2,562	22.86	25.83	△ 2.97
20年	7,916	9,105	△ 1,189	9.21	10.60	△ 1.38	19,583	21,923	△ 2,340	22.79	25.52	△ 2.72
21年	7,533	8,819	△ 1,286	8.80	10.31	△ 1.50	19,480	21,045	△ 1,565	22.77	24.59	△ 1.83
22年	7,606	9,096	△ 1,490	8.92	10.67	△ 1.75	17,868	19,223	△ 1,355	20.95	22.54	△ 1.59
23年	7,771	9,513	△ 1,742	9.14	11.19	△ 2.05	18,311	19,435	△ 1,124	21.55	22.87	△ 1.32
24年	7,424	9,485	△ 2,061	8.77	11.20	△ 2.43	17,628	18,984	△ 1,356	20.81	22.42	△ 1.60
25年	7,304	9,710	△ 2,406	8.66	11.51	△ 2.85	18,107	19,591	△ 1,484	21.47	23.23	△ 1.76
26年	7,289	9,699	△ 2,410	8.68	11.55	△ 2.87	17,399	19,588	△ 2,189	20.72	23.33	△ 2.61
27年	7,117	9,833	△ 2,716	8.52	11.78	△ 3.25	17,778	20,270	△ 2,492	21.29	24.27	△ 2.98
28年	6,975	9,595	△ 2,620	8.38	11.52	△ 3.15	17,511	19,335	△ 1,824	21.03	23.22	△ 2.19
29年	6,665	9,978	△ 3,313	8.05	12.05	△ 4.00	18,064	19,519	△ 1,455	21.81	23.56	△ 1.76
30年	6,653	10,114	△ 3,461	8.08	12.28	△ 4.20	18,687	19,736	△ 1,049	22.69	23.96	△ 1.27
令和 元年	6,276	10,035	△ 3,759	7.66	12.25	△ 4.59	19,048	20,188	△ 1,140	23.25	24.65	△ 1.39
2年	6,161	9,917	△ 3,756	7.57	12.18	△ 4.61	17,270	18,904	△ 1,634	21.21	23.22	△ 2.01
3年	5,939	10,121	△ 4,182	7.32	12.47	△ 5.15	16,767	18,306	△ 1,539	20.66	22.56	△ 1.90

(注) 1. 各年次とも前年10月1日から翌年9月末日までの1年間の集計である。  
 2. 各年次の1,000人対比率は、前年の10月1日現在推計人口又は国勢調査人口に対する比率である。

7 世帯

(1) 世帯数

令和3年10月1日現在の世帯数は、314,731世帯で、これを前年と比較すると2,051世帯(0.66%)の増加となっている。

世帯数の増減状況を市町別にみると、17市町(9市8町)で増加し、1市1町で減少、1町で増減なしとなった。

世帯増減数・世帯増減率の上位及び下位をそれぞれ5位までみると表-15のとおりである。

表-15 市町別世帯増減数(増減率) (⇒統計表第12表)

順位	世帯増減数		世帯増減率	
	上位	下位	上位	下位
1	佐賀市 670	唐津市 △41	上峰町 2.45%	大町町 △0.16%
2	鳥栖市 366	大町町 △4	みやき町 2.00%	唐津市 △0.09%
3	みやき町 185	太良町 0	基山町 1.82%	太良町 0.00%
4	武雄市 156	玄海町 3	吉野ヶ里町 1.58%	玄海町 0.13%
5	基山町 123	多久市 11	鳥栖市 1.23%	多久市 0.16%

表-16 世帯数・1世帯当たり平均人員の推移 (⇒統計表第1・12表)

年次	世帯数	1世帯当たり平均人員	対前年増減		年率
			増	減	
※ 大正 9	128,854	5.2	—	—	—
※ 14	129,728	5.3	—	—	—
※ 昭和 5	128,731	5.4	—	—	—
※ 10	126,691	5.4	—	—	—
※ 15	129,761	5.4	—	—	—
※ 22	174,652	5.3	—	—	—
※ 25	176,603	5.4	—	—	—
※ 30	181,468	5.4	—	—	—
※ 35	190,063	5.0	—	—	—
※ 40	191,425	4.6	—	—	—
※ 45	199,755	4.2	—	—	—
※ 50	213,152	3.9	—	—	—
※ 55	233,117	3.7	—	—	—
※ 60	242,619	3.6	—	—	—
※ 平成 2	251,225	3.5	—	—	—
※ 7	267,862	3.3	—	—	—
※ 10	277,148	3.2	2,915	—	1.1
※ 11	280,058	3.2	2,910	—	1.1
※ 12	278,306	3.1	—	—	—
※ 13	280,812	3.1	2,506	—	0.9
※ 14	283,100	3.1	2,288	—	0.8
※ 15	285,606	3.1	2,506	—	0.9
※ 16	287,692	3	2,086	—	0.7
※ 17	287,431	3.0	—	—	—
※ 18	290,279	3.0	2,848	—	1.0
※ 19	293,002	2.9	2,723	—	0.9
※ 20	295,425	2.9	2,423	—	0.8
※ 21	297,429	2.9	2,004	—	0.7
※ 22	295,038	2.9	—	—	—
※ 23	297,524	2.8	2,486	—	0.8
※ 24	299,776	2.8	2,252	—	0.8
※ 25	301,958	2.8	2,182	—	0.7
※ 26	303,808	2.7	1,850	—	0.6
※ 27	302,109	2.8	—	—	—
※ 28	304,646	2.7	2,537	—	0.8
※ 29	307,514	2.7	2,868	—	0.9
※ 30	310,323	2.6	2,809	—	0.9
※ 令和 1	313,132	2.6	2,809	—	0.9
※ 2	312,680	2.6	—	—	—
※ 3	314,731	2.6	2,051	—	0.7

(注) ※は、国勢調査による世帯数。  
昭和10年の世帯数は、普通世帯のみ。  
なお、国勢調査実施年の対前年増減(率)は、前年が推計値のため比較していない。

(2) 1世帯当たりの平均人員

令和3年10月1日現在の1世帯当たりの平均人員は2.6人となった。

1世帯当たりの平均人員を市町別にみると、19市町(10市9町)で2人台、1町で3人台となっている。

1世帯当たりの平均人員の上位をみると、白石町が3.0人、太良町が2.9人、嬉野市、江北町の2市町(1市1町)が2.8人となり、また、下位をみると、佐賀市が2.4人、鳥栖市、玄海町、基山町、大町町の4市町(1市3町)が2.5人となっている。